



ISSOM + Trail'O = ∞ !!!!!

新潟県協会
藤島由宇

2006 年 10 月 22 日 (日) '06 トレイルO長岡大会

■ はじめまして GPS ■

7月22日(土)午後2時過ぎ、新潟県長岡市は国営越後丘陵公園管理事務所前駐車場にその黄色いバッグが姿を現しました。30年あまりの新潟県オリエンテーリング史上初めて、D-GPSを用いた地図調査が始まったのでした。

GPSを用いた地図調査が広まっていいのですが、筆者などは「GPSを使うとゆがみの無い良い地図が作れる」

くらいのことしか知識が無かったため、今回の福祉医療機構の助成を受け、実際にGPSを使う機会を得られた事は大変有り難いものとなりました。

■ 国営越後丘陵公園とは？ ■

今回のトレイルO普及事業のメインイベント会場となる国営越後丘陵公園は全国に16箇所ある国営公園の1つで、面積約400haを有する新潟県内でも有数の大規模公園です。園内は1周1kmの円形外周路を骨格にし、その内外に子どもの遊べる遊具や親水池、フライングディスクの楽しめる丘陵地帯、バーベキュー広場、あるいは展望台へ続く尾根の自然探索路などが整備されています。また新潟県中越地区で出土された火焔土器(約4000年前の縄文時代に作成されたとされる、日本最古の国指定重要文化財)を植え込みで表現したエリアが特徴的な作りとなっています。



展望台からの公園の眺め

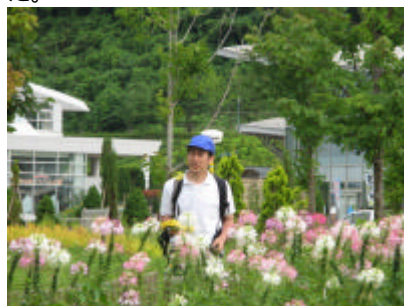
この公園では6月になるとバラ園が設けられ、様々な品種のバラを楽しむ事が出来ます。近年はそれまで栽培が不可能とされていた青いバラもお目見えしているのですが、公園内の売店ではその名も「青バラソフトクリーム」が販売され人気を博しています。見た目は涼しげな水色で、最初の1口に感じるバラの清々しい香りに誰もが唸る逸品となっております。

■ いざ、GPS ■

山川克則さんによるGPS装置の組み立てと、灯台データの取得が始まりました

「おっ！！入る入る！！」

これからの調査の幸先の良さを思わせる山川さんのはずんだ声があげられました。海から数10kmのところにある公園ですから、GPSデータ取得もすんなりというわけでした。捕捉衛星数の表示も軽く6や7を示すほどです(翌日計測した時には10を記録しました)。使ひ方の説明を受けたのち早速新潟のメンバーが背負い、測定開始となりました。



花畑を歩く山下友宏さん(長岡 OLC)

今回の地図はISSOM仕様となるため、外周路や展望台に通じる車道は路端を歩く事になります。外周路は外側を廻ったら今度は内側、展望台への舗装道路は右側通行で上り下りという具合です。取得できたデータを見ると、外周路は概ねスムーズに線が取れていたのに対し、展望台への道はギザギザ部分が多くなりました。木々の葉っぱが道の上を覆い、精度が落ちていたのです。

■ 遅れた梅雨明け、そして猛暑 ■

山川さんには7月22日から8月1日の11日間の予定で調査をお願いしていましたが、この頃なら梅雨も明けているだろうと踏んでいたのですが、今年の梅雨は本当に長く、また雨が降らなくても夏の暑さは控える事を知らず、山川さんを苦しめました。結果的に期限の8月1日には間に合わなかったのですが、山川さんの「作品を完成させる」というプロフェッショナル魂が叫んだ結果、翌2日昼過ぎまでに無事調査を完遂していただいたのでありました。



仮設住宅の眺めに決意も新たな山川さん

■ 世界対応！ISSOM でのトレイルOです ■

地図は8月8日(火)に届きました。それはまさに芸術(アート)であり、感動すら覚える大作でありました。日本初のISSOMマップによるトレイルO指定大会が新潟県長岡市で開催されるのです。

以下は山川さんによるISSOM地図でトレイルOを行う際の重要注意事項です。本誌購読者の皆さんには一足お先に(このコメントはプログラムにも掲載します)。

「ISSOM規定をよく読むと、あまりに細かいものまで取り過ぎないように、トレイル全体で統一をきちんと取るように書かれています。なのでよほどの事情が無い限り、その時の都合でトレイルの為に特徴物を書き加えたり、地図を改変したりするのは、ちゃんとしたISSOM地図に関しては絶対にやめたほうが良いと思います。

この地図で木と描かれたものは木、白く抜かれただけのものは森なのです。(中略)こういうのをその時のトレイルの課題の都合で書き足すのは、全体としてのバランスを欠き、あとで問題発生の元になります。何が拾われて、何が省略されているのか、それも地図読みの内、という認識で...。」

なおコースプランナーはフィンランド帰りの山口拓也君が務めます。



長岡が皆様をお待ちしております！

(藤島由宇)